

# 下野市市民農園だより

(第79号)

発行 市民農園利用者の会  
会長 田中 志郎  
後援 下野市農業公社  
電話 32-8951  
編集 赤井田 (副会長)  
石川 (事務局)

## (活動報告)

○7月11日 農園まつり用野菜(ごぼう・にんじん)の種蒔きをしました。



### 【今後の主な予定】

11月  
農園だより79号発行

12月  
本年の「腐葉土作り」は  
中止となりました。

3月  
役員会(総会について)  
農園だより80号発行

○9月25日

敷き藁用の「いなわら」の天日干しをしました。

乾燥したら「のう」を作って越冬します。



「だいこん」の間引き作業



○11月5日

「ごぼう」「にんじん」「さといも」の収穫作業



○11月6日

収穫した野菜の販売



### 新人会員からのお便り

今年から新会員になりました 二上(にかみ)です。よろしくお願いいたします。

コロナ感染予防の自粛生活で、庭の草むしりももう採るものがなくなり、運動不足解消のウォーキングコースを、住んでいる仁良川から薬師寺方面に広げた時、「市民農園」を発見しました。動機は畑で野菜を栽培したいよりも、畑に歩いてくればよい運動になるだろうという考えからでした。(ただ、一度も歩いて行っていません)

ところが3月末に初めてネギを植えてからは、仕事の帰りに立ち寄るなど、ほぼ毎日の様に畑に通っています。当然歩いて行くほど時間もなく、いつの間にか車には長靴と鎌と如雨露が。

先輩の皆さんからは、「色々失敗もあるだろうけど頑張って」と、励まされながらもプレッシャーのような感じもありました。夏野菜の苗を早い時期に植えてしまい、寒さで3回も凍死させたり、殺菌作用がある木酢を掛けて火傷を負わせたり、台風に備えて添え木を当てたら、根元が極細の虚弱体質になるなど、一気に沢山の体験をしています。

問題が起きるたびにネットで調べ、再発防止を考えています。大袈裟ですが人生では無理だけど、やり直しができることに、面白さを感じています。しかし、人参が根切り虫にかじられ全滅。蒔き直したのが順調に育っているけど寒さには..?心配は尽きません。

来年もコロナ撲滅を願いながら、臨機応変に頑張ります。

二上 幸太郎

★ たい肥、稲わらを随時販売しています ★

腐葉土、堆肥 : 1杯 (農園のバケツ) . . . . 100円

稲わら : 1束 . . . . 20円

モミ殻 : 1杯 . . . . 20円

購入希望者は、備え付けのノートに必要事項を記載して下さい。

駐車場周辺の草花を植え替えてもらいました。皆さん大切にして、

楽しんでください。

